

Life Wave

2019年
新春号

特集

浄化槽の保守点検

～点検ではどんなことをしているの?～

●取引先インタビュー かがやき
魅力ある職場を作り、
「人にしかできない仕事」を伸ばしたい
～株式会社 米沢ビルシステムサービス～

●暮らしのメモ帳
防災グッズ編 非常用持ち出し袋

▶ほっけんをのぞいてみよう!
自分の会社も修理しています

浄化槽の保守点検

～点検ではどんなことをしているの？～

「浄化槽の保守点検って、どんなことをしているのだろう？」と思ったことはありませんか。今回は具体的な点検内容について少し詳しくご紹介したいと思います。

浄化槽保守点検の作業内容

1. 各槽の透視度を測定する

汚水を採取し、透視度計という計測器で測定します。透明度が高いほど「処理が進んでキレイになっている」ということです。



2. DO(溶存酸素)を測定する

DO(溶存酸素)計を浄化槽内に入れ、ばっ気槽にある酸素の量が、微生物が働きやすい状態であるか確認します。



3. 各槽のpHを測定する

槽内のpHを測定し、酸性か中性かアルカリ性かを判定。微生物の生存に適した環境か確認します。



4. 放流水が殺菌されているか測定する

残留塩素の数値を測り、塩素によって大腸菌などが殺菌されているかを確認します。



5. スカム(浮上汚泥)の除去作業をする

浄化槽内に「スカム」と呼ばれる浮上汚泥が発生している場合、除去作業を行います。

6. 薬剤の補給をする

殺菌用の薬剤量を確認し、必要に応じて補給をします。

7. 送風機(プロワ)を点検する

送風機(プロワ)は、微生物の生存に必要な酸素を送る最も重要な設備です。点検では音や振動等の異常がないか確認します。また、フィルターを清掃し、オイルやベルト状態の確認も行います。



8. 制御盤の点検をする

制御盤が設置されている場合、電気機器の電流値や絶縁抵抗を測定します。異常な数値が出た場合は故障や漏電のおそれがありますので、原因調査と修理のご提案を致します。



浄化槽ってどんなもの…？

生活中では様々な理由で汚水が発生します。一人あたりの汚水排出量は1日200リットルとも言われています。これだけ多くの汚れた水を処理せずにそのまま流してしまうと、不衛生であることはもちろん、自然にも様々な悪影響を及ぼしてしまいます。これらの汚れた水を微生物の働きによって分解し、きれいな水に変えてから川などへ放流するための装置が浄化槽です。

下水道が整備されていない地域では、浄化槽の設置が法律で義務付けられています。浄化槽は微生物の働きなどをを利用して汚水を浄化し、きれいな水にして放流するための施設で、最も身近な污水処理施設です。

微生物からの
お願い！



浄化槽ご使用上の注意事項

浄化槽はいくら適正な維持管理を行っても、誤った使い方をすると本来の機能を発揮することができません。浄化槽は日常の管理も大切です。ご使用の際には、次のような点にご注意ください。

1. プロワの電源は

絶対に切らないでください。

電源を切ると、空気(酸素)を送ることができません。浄化槽内の微生物が酸素不足で死滅し、浄化されなくなってしまいます。



2. 多量の油は

絶対に流さないでください。

なべや皿などに付着した少量の油は紙などでふきとるなど、できるかぎり油は流さないようにしてください。油を多量に流すと、浄化槽にかかる負担が大きくなり機能が低下してしまいます。



3. 洗濯の際、洗剤は適量で

ご使用ください。

洗剤は多量に使用しても無駄になるだけで、水を汚すことになります。できる限り無リンの洗剤を使用してください。リンは富栄養化を促進し、水質の汚濁源となってしまいます。



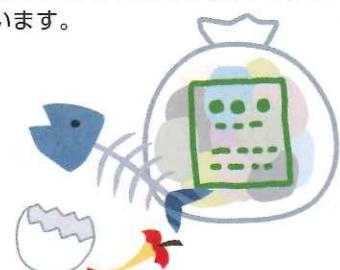
4. トイレでは専用のトイレットペーパーを使用し、水はきちんと流してください。

新聞紙、タバコ、衛生用品等は便器に流さないでください。浄化槽では分解できませんし、配管詰まりの原因になります。トイレットペーパーは、水に溶けやすいものを適量使ってください。また、使用後は十分に水を流してください。



※故障の場合はすぐにお電話ください。

何か変だな？と思われた方も、ご遠慮なくご連絡ください。



～魅力ある職場を作り、「人にしかできない仕事」を伸ばしたい～

株式会社米沢ビルシステムサービス 様



株式会社米沢ビルシステムサービス
米沢 啓太 様

今回ご訪問させていただいたのは、株式会社米沢ビルシステムサービス（以下、同社と記載）営業部次長の米沢啓太様。実は、同社には筆者が修業時代にお世話になったご縁もあり、昔話にも花が咲いたインタビューとなりました。

同社は「近江町いちば館」や「金沢医科大学氷見市民病院」といった大規模施設から、テナントビルや共同住宅のような建物まで、幅広い物件を管理されています。弊社も協力企業会「YBM会」の一員として、貯水槽清掃や給排水設備の修繕工事などで大変お世話になっております。

平成7年に米沢電気グループとして設立された同社ですが、当初から順調だったわけではなかったとのこと。以前は外部から社長を招いていましたが、外部社長の場合はどうしてもグループ内のヨコ連携が弱くなり、相乗効果を発揮できなかつたそうです。

現在は人事体制が一新されており、グループ内の連携も強く、順調に業績を伸ばしていらっしゃることです。

実は、今回インタビューさせていただいた米沢次長も、15年務めたグループ会社から昨年春に異動で着任されております。全く違う業種への異動だったため、最初は使っている「言葉」からして分からず、大変なご苦労をされたそうです（筆者も同じ経験をしたので、お気持ちよく分かります…）。



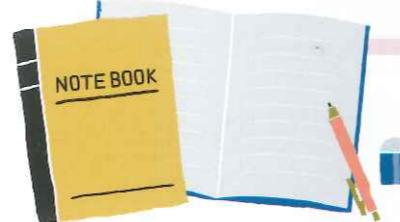
会社名／株式会社米沢ビルシステムサービス
設立／平成7年10月6日
住所／白山市徳丸町136番地6
代表者／代表取締役社長 久田 伸一
電話／076-276-4853

現在の課題はやはり人手不足のこと。同社は自前の清掃部門をお持ちですが、常駐物件のシフトを組むのが難しく、時には自ら清掃作業に取り組まれることもあるそうです。加えて、同じ問題を抱えている企業は（弊社も含めて）多いと思いますが、同社でもベテラン社員の高齢化がすんでいるそうです。そのため、若い世代へのノウハウ継承をどう進めるか、日々お考えになっているということでした。

また、将来を見据えて「柱」となるような大規模案件の受注を目指したいが、そのためにも人材の採用・育成がますます重要になるとおっしゃる米沢次長。同社ではビル管理関連の資格取得に対し、社内表彰や報奨金支給を行う制度を導入し、順調に成果が上がっているとのことでした。

ビル管理業界でも機械化が進む昨今ですが、米沢次長は「人」でしかできない分野を伸ばすとともに、労働条件の改善を進めて「魅力ある会社・職場」を作りたいと語っておられました。

人材育成は弊社でも最重要課題としてとらえていますが、「さらに取り組みを進めなければ！」という決意をさせてもうったインタビューでした。



暮らしのお役に立てるような情報を届け!!

暮らしのメモ帳

防災グッズ編
非常用

2018年は豪雪から始まり、西日本を中心に大きな被害を出した豪雨、毎週のように訪れる台風、そして最大震度7になる北海道胆振東部地震と日本各地で災害が頻発しました。いつ起こるかわからない災害に備え、準備をしておくことが大切ではないでしょうか？

非常用持ち出し袋

素早く避難するために必要な防災グッズをセットにして入れておくのが、非常用持ち出し袋です。防災グッズをたくさん備蓄すれば安心感は増しますが、重すぎて持ち出せないと意味がありません。家族の誰でも無理なく持ち出せる重さにしておくことが大切です。最低限袋に入れるべき防災グッズは何か、家族で話し合ってみましょう。



避難時には

進路をふさぐガレキや障害物を避けたり、子供の手を引いたりするため、避難時は両手を自由にするのが基本です。そのため、非常用持ち出し袋としては背中に背負えるリュックサックが適しています。



ローリングストック法

非常食の備蓄方法として、3年、5年と長期保存の効く食糧を大量に買い込み保存しておくということが一般的な方法だと思います。ただ、このような方法だと気が付いたら賞味期限が大幅に過ぎていて全て廃棄した、ということもあり得ます。そういう事態を回避する方法がローリングストック法です。日常的に（1カ月に、1～2回程度）非常食を食べて、食べたら買い足すという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食が備蓄されているという、「食べ回しながら備蓄する」という方法です。この方法なら賞味期限の短いレトルト食品なども非常食として備蓄可能になります。普段の生活に取り入れてみてはいかがでしょうか？



ほっけんを
のぞいてみよう!

Hokken Engineering co.,Ltd.

「自分の会社も 修理しています…」

近年、日本各地において大雨、土砂崩れ、地震等の自然災害が多くなっているように思います。昨年の石川県でも、近年まれにみる大雪や大雨、台風など多くの災害に見舞われました。

弊社にも配管の凍結や屋根瓦の破損、雨樋の破損など、修理依頼が重なりました。災害発生時は、多くのお客様から同時にご依頼をいただきます。そのため、お客様に順番待ちをしていただいたケースも多々あり、ご迷惑をおかけしてしまいました。この場を借りてお詫びを申し上げます。

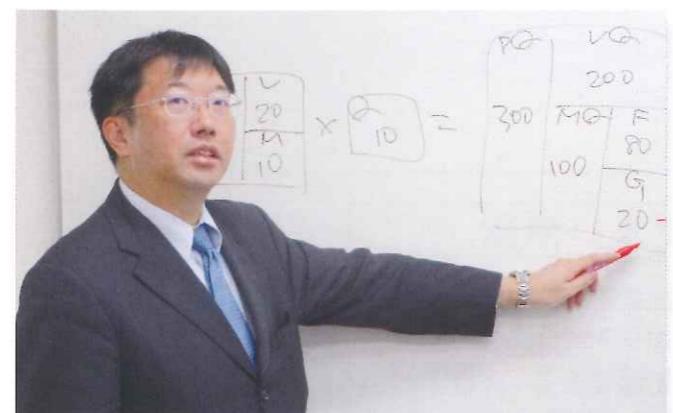
結果として、一番最後(!)の修理案件が弊社の白山支店となりました。9月初旬の台風21号で雨樋が破損したのですが、災害関連以外のお仕事も多くいただき、修理ができたのは11月～12月となりました。(白山支店のみんな、待たせてごめんね!)

もう一つ、大事な関連情報のお知らせです。

皆様は、ご自宅や職場の建物に火災保険を掛けているいらっしゃると思います。その特約として、火災以外の災害についても、保険金の支払い対象となっていることがあります。一度保険証券を見ていただき、いざというときに保障されるのかご確認ください。

(弊社の白山支店も、保険適用となって無事に修理ができました!)

なお、保険金の支払いを受けるためには、原則として見積書や工事写真が必要となります。保険の適用を受けたいお客様は、ぜひ修理前に弊社までご相談ください。



北研エンジニアリング株式会社
代表取締役 谷口 智彦

ご挨拶

昨年は2月の大雪から始まり、大雨による浸水や台風による被害など、自然災害に祟られた1年でした。ここ数年は気候が熱帯型に近づき、これまでの常識や「平年値」が役に立たない場面が増えたように思います。

今回の特集は浄化槽管理ですが、水質浄化の主役は微生物(=生き物)です。環境変化が激しくなるということは、微生物も生きづらいということになりますので、以前より管理が難しくなっているようです。

当社の経営理念は「快適な環境づくりに、技術と誠意で貢献する」ですが、自然環境自体が激変しているため、これまでと同じ仕事をしていくには快適な環境をご提供できないように感じております。

新しい技術やノウハウを積極的に取り入れ、全社一丸となって「快適な環境づくりのスキル」を高めていきたいと思っています。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

使用するにあたり、浄化槽は特別な操作を必要としませんので、普段はなかなか意識することはないのではないかでしょうか。今回の特集でそんな浄化槽について、私たちが普段行っている保守点検とはどういうものなのか、浄化槽を使用するさいにはどういったことに気を付けなければならないかを少しでも知って頂ければと思います。誌面スペースの都合上、まだまだ語り足りないところもありますので、詳しくお話出来る機会があればとも思います。

●担当
管理部 高橋 二志夫



ご協力ありがとうございました!

ご協力いただいた方

株式会社米沢ビルシステムサービス
営業部次長 米沢 啓太 様

編集担当者

編集長 高橋 二志夫

吉田 新介 馬田 魁星
清水 亮次 中野 義久
岩高 佐和子 谷口 浩二

Hokken Engineering co. Ltd.,
Life Way

事業案内

水関連

■給水設備を管理する

貯水槽清掃、塩素点検、防錆剤点検など

■排水設備を管理する

浄化槽維持管理、グリーストラップ清掃など

■配管を洗浄する

JAB洗浄、薬品洗浄など

■水のトラブルを解消する

排水管詰まりの除去、水廻り設備の修理、漏水調査・修繕など

■水廻りを改修する

トイレの様式変更工事、蛇口の取替工事、ポンプの取替、下水道引込工事など

住まい関連

■リフォームする

増改築、水廻りリフォーム、バリアフリー工事など

■空調設備を管理する

冷暖房切替点検、床暖房・ボイラーポイント検空気環境測定など

■省エネ対策をする

スカイライトチューブ取付工事など

福祉関連

■福祉用具を提供する

福祉用具のレンタル、販売など



北研エンジニアリング株式会社
水・人・住まいのエキスパート

- 営業時間／8:40～17:30
- 休 日／毎月第2・4・5土曜日、日・祝日

※なお、メンテナンス契約のお客様で緊急を要する場合は、**076-240-8880**までご連絡ください。休日当番の携帯電話に直接繋がります。

本 社

〒920-0364
石川県金沢市松島3丁目79番地
TEL 076-240-8880
FAX 076-240-8875
Email info@hokken.com

七尾支店

〒926-0828
石川県七尾市白馬町57番地
TEL 0767-57-2648
FAX 0767-57-3737
Email nanao@hokken.com

白山支店

〒924-0828
石川県白山市上二口町127番1
TEL 076-274-2940
FAX 076-274-2941
Email hakusan@hokken.com